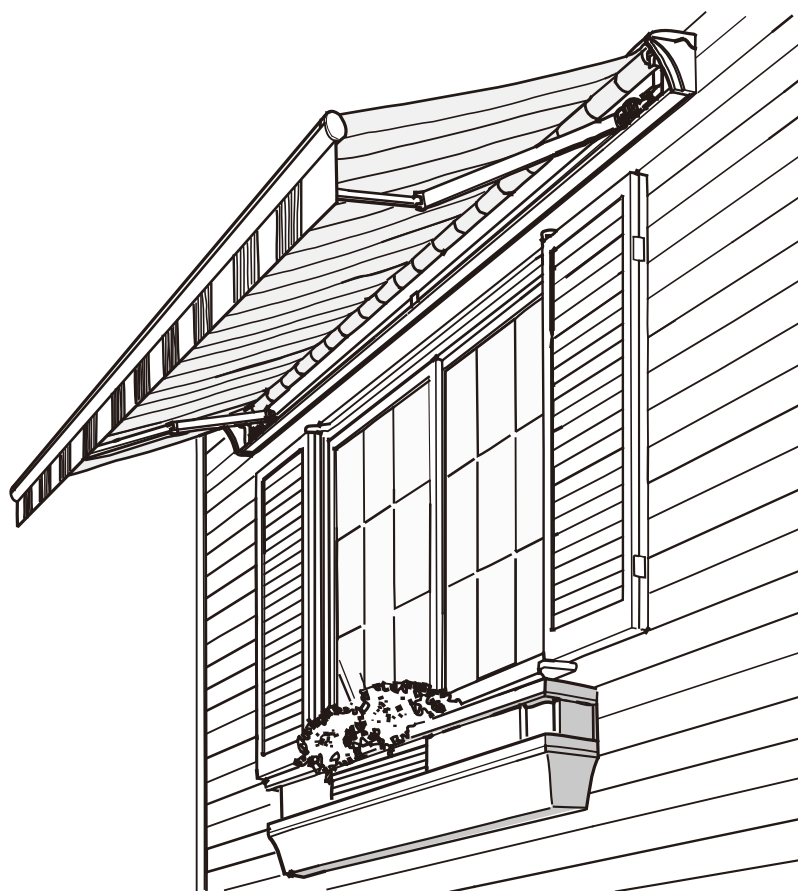


# 可動式日除け

## 取扱い説明書



### ご使用にあたって

- この説明書では、お施主さまが商品を安全に正しくご使用いただくための取扱い方法やお手入れ方法などの重要な内容を記載しております。  
ご留意いただくとともに、大切に保管してください。

# 目次

■ 重要なお知らせ……………1	■ 操作方法(彩樹B型)……………6・7
■ 警告用語の種類と意味……………1	● スクリーンの開閉/彩樹B型……………6
■ 安全のために特に注意していただきたいこと…2~4	● ロープ操作/彩樹B型……………7
注意……………2・3	■ 操作方法(彩鳥CR型・彩樹B型)……………8
お願い……………3・4	● スクリーンの固定/彩鳥CR型・彩樹B型…8
■ 操作方法	■ 製品が動かない場合……………9
(彩鳥CR型・C型・S型・L型、彩樹A型)…5・6	■ お手入れ方法……………9
● 手動式……………5	● 商品の点検……………9
● 電動スイッチ式/電動リモコン式……………5	● 商品のお手入れ……………9
● 電動スイッチ式……………5	■ アフターメンテナンスについて……………10
● 電動リモコン式……………5・6	■ 商品保証について……………裏表紙

## 重要なお知らせ

ご使用の前に……………

●安全のために、必ずお守りください。

「可動式日除け」のご使用およびお手入れを行う場合は、必ずこの取扱い説明書にしたがってください。

なお、この取扱い説明書にしたがわず、乱用または誤用によって、ケガおよび損害が発生した場合は、当社およびその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。

したがって、「可動式日除け」のご使用およびお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。

2.この取扱い説明書は著作権を有し、その権利は留保されています。

3.商品のお問い合わせについては、下記の窓口までご連絡ください。

問合わせ事項	連絡先	TEL
商品全般	お客さま相談センター	☎ 0120-126-001
修理のご依頼	LIXIL修理受付センター	☎ 0120-413-433

## 警告用語の種類と意味

※この章では、「可動式日除け」を使用する場合に守るべき安全事項を説明しています。

●この取扱い説明書では、危険度の高さ(または事故の大きさ)にしたがって、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

警告用語	意味
<b>▲ 注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。
<b>お 願 い</b>	特に注意を促す情報で、使用者などが思わぬケガをするおそれや、機器の損傷・故障などにつながる場合があります。

# 安全のため特に注意していただきたいこと

(安全のため、必ずお守りください)

## ！ 注 意

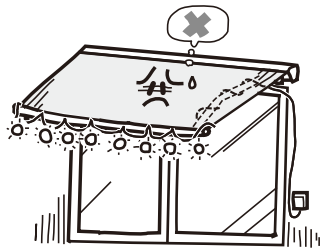
- 電動の場合、モーターやスイッチなど電気関連部分に水をかけないでください。感電・漏電のおそれがあります。



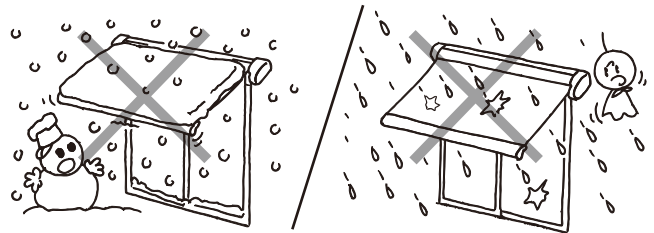
- 前枠やキャンバスに、ものをぶら下げたり荷重をかけたりしないでください。落下・破損のおそれがあります。



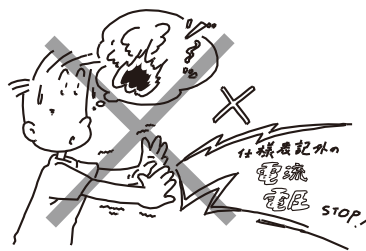
- 製品に電気コードを巻付けしないでください。感電・漏電のおそれがあります。



- 豪雨や積雪またはそれが予想される場合は、キャンバスを巻取っておいてください。落下・破損のおそれがあります。  
※小雨程度ならそのままの状態でもオーニング下のスペースを活用できます。



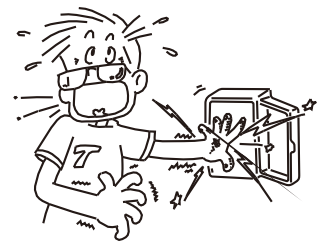
- 仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。火災、感電の危険があります。



- 濡れた手でスイッチを操作しないでください。手を良く拭いて使用してください。



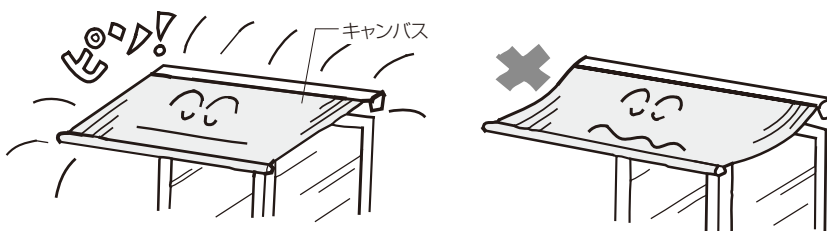
- コントローラーなどの電動装置内の配線にはふれないでください。感電する危険があります。



- キャンバスはたるみなく張ってください。

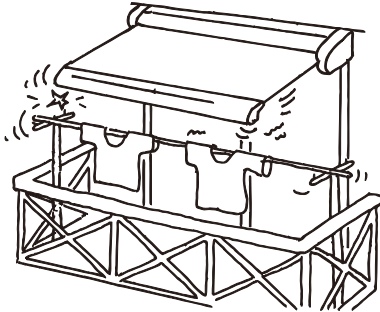
※キャンバスのたるみが直らず水がたまってしまう場合は、必ず購入先に連絡し、直してもらってください。多量の水がたまると製品が落下するおそれがあります。

※製品に水分がたまったままの状態でも操作すると、一度に多量の水が流出します。通行人や品物など周辺にかからないようゆっくり操作してください。

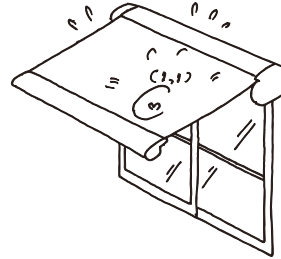


# ⚠ 注 意

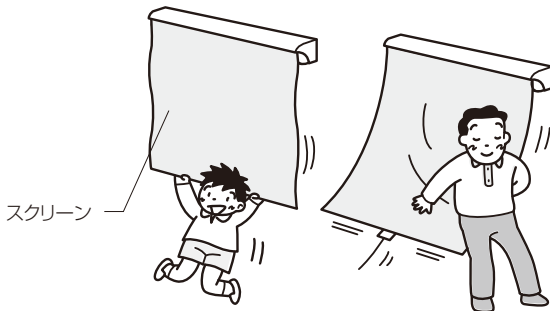
- キャンバスを駆動させる前に、障害物が無いか確認してから操作をしてください。



- 分解・改造はしないでください。事故・故障の原因になります。

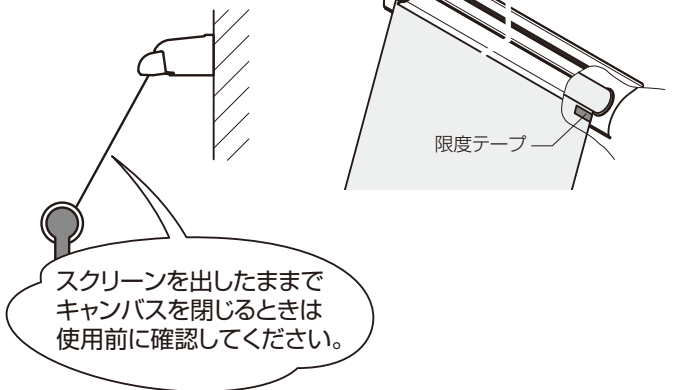


- スクリーンにぶら下がったり、荷重をかけたりしないでください。落下・破損のおそれがあります。



- スクリーンはたるませてください。ご使用は限度テープが見えない範囲内で行ってください。範囲外で行った場合、製品破損につながります。

・彩鳥CR型の例

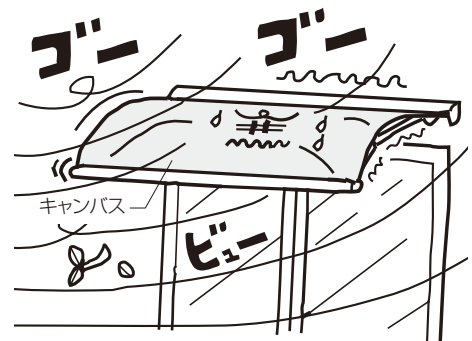


## お願い

- 強風(10m/秒以上)のとき、又は突風が予想されるときはキャンバス・スクリーンを巻取ってください。あおられて破損のおそれがあります。

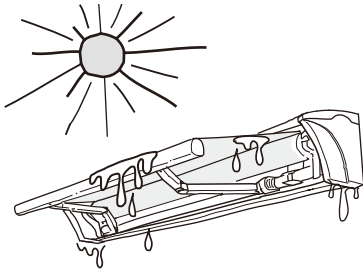
### ■地上における風速の目安 ※突風の目安ではありません。

風圧(m/秒)	現象
8	葉のある低木がゆれはじめる。池や沼の水面に波頭が立つ。
10	大枝が動く。電線が鳴る。かさがさしにくい。
13	樹木全体がゆれる。風に向っては歩きにくい。
15	小枝が折れる。風に向っては歩けない。(小型台風)

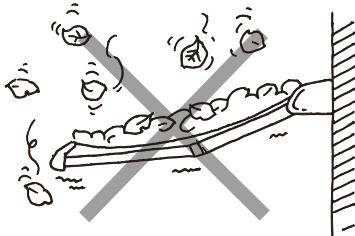


## お願い

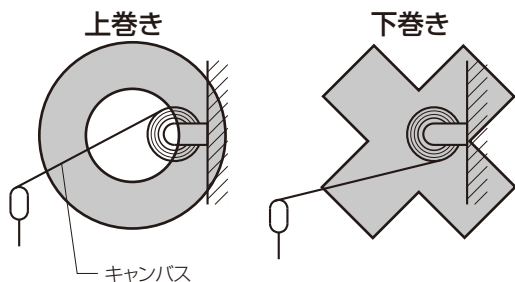
- 雨や雪・結露など、製品に付着した水分が凍結している場合は、溶けるまで操作しないでください。故障の原因になります。



- 雪や落ち葉などがキャンバスの上に積もってしまった場合は、必ず取除いてから巻取ってください。故障の原因になります。



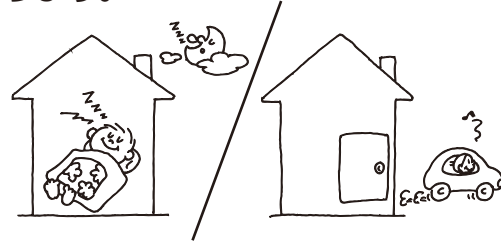
- 手動式の場合、キャンバスを下巻きにしないでください。正常に巻取れず破損の原因になります。(操作方法参照)



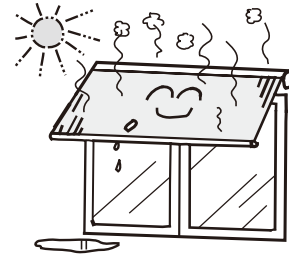
- スクリーンの開閉操作は、中央のスクリーンハンドルにフック棒などを引っ掛け、スクリーンが水平になるようにゆっくり行ってください。斜めに行うとスクリーンの巻乱れが生じ生地の消耗につながります。巻乱れが生じた場合はいったん引出し、再度巻取ってください。



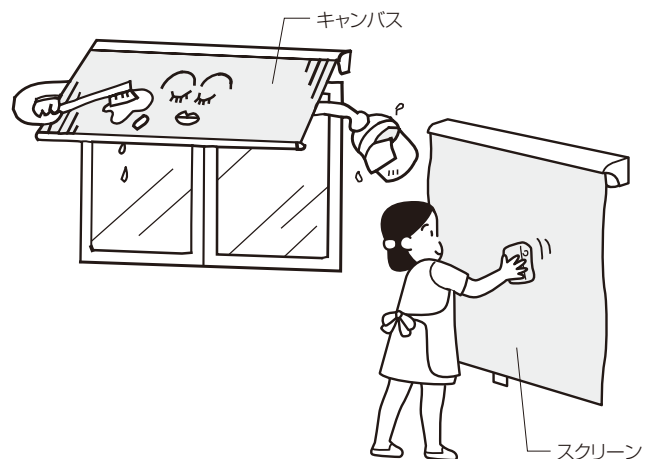
- 夜間や留守の場合は、必ずキャンバス・スクリーンを巻取っておいてください。気象の変化などで故障するおそれがあります。



- 雨などでキャンバス・スクリーンが濡れた場合は、傘と同じように天気の良い日に開いて乾かしてください。カビの発生や汚れの原因になります。



- キャンバス・スクリーンはこまめにお手入れしてください。汚れがひどいと生地が老化が早くなります。又、キャンバス・スクリーンは3~5年を目安に交換することをおすすめします。

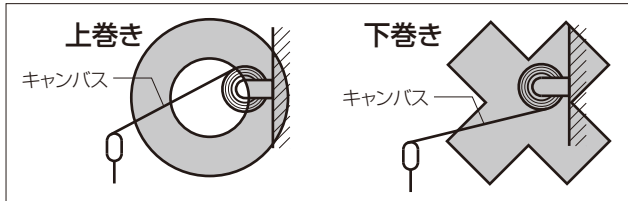
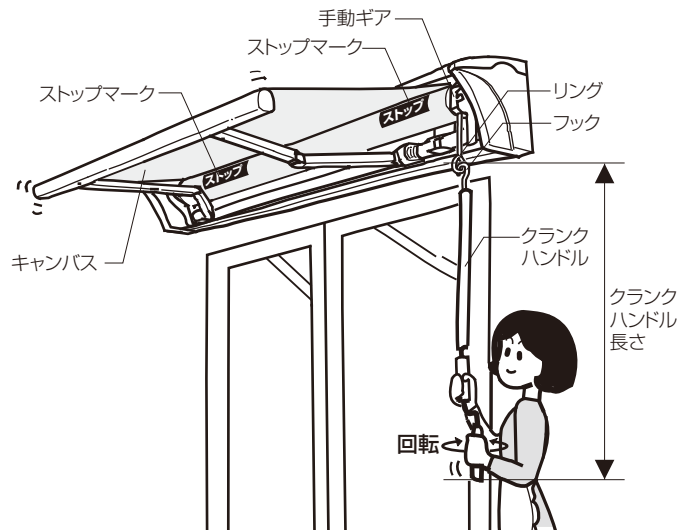


- スクリーンを折り曲げた状態で強く押しつけないでください。折りじわの原因となります。

# 操作方法 (彩鳥CR型・C型・S型・L型、彩樹A型)

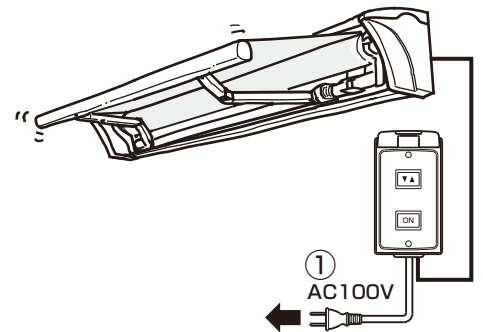
## 手動式

- ①クランクハンドルのフックを手動ギアのリングに引っ掛け、手回しで開閉します。  
 ※クランクハンドルの長さは100cm・150cm・170cm・225cmを用意しています。  
 ※キャンバスを全開せず途中で止めたままでも使用できます。  
 ※操作しないときはクランクハンドルを外しておいてください。  
 ※全開するとき、図のようにストップマークが見えたところで止めてください。出し過ぎた場合は、キャンバスがピンと張った状態になるまで巻戻してください。  
 ※キャンバスを全部出しきった状態でさらに出す方に回すとキャンバスが下巻きになります。下巻きになると布が正常に巻けなくなり、破損の原因になりますので常に上巻きになっているのを確かめてください。



## 電動スイッチ式／電動リモコン式

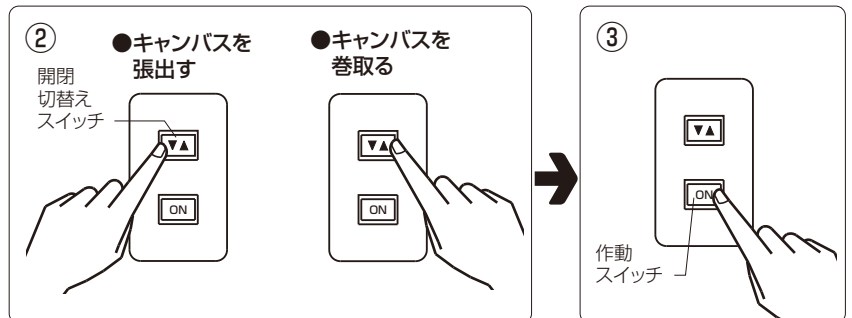
- ※センサー式の操作方法は、センサーセット内の説明書をご覧ください。  
 ①電源プラグを、AC100Vコンセントに差込みます。(AC100Vコンセント以外には差込まないでください。) 屋内配線と結線されている場合は、ブレーカーをONにします。  
 ※連続開閉は、なるべくさけてください。連続開閉すると、モーターの安全装置が働き、開閉途中で止まります。この場合は20～30分ほど休ませると再び動かせます。



## 電動スイッチ式

### スイッチ操作方法／彩鳥CR型・C型・S型・L型

- ②開閉切替えスイッチの▲又は▼を押します。  
 ▼…キャンバスを張出す  
 ▲…キャンバスを巻取る  
 ③作動スイッチを押します。  
 押している間だけモーターが作動し、開閉します。手を離すと止まります。



## 電動リモコン式

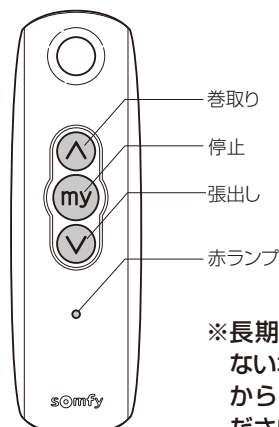
### リモコン操作方法／彩鳥CR型・C型・S型・L型、彩樹A型

- ②リモコンのスイッチを押します。  
 ※リモコンの赤ランプが点灯しているとき、(最長5秒間)に電波が出ています。赤ランプが点灯なくなったら、電池を交換してください。

- ▲ …キャンバスを巻取る
- my …途中停止する
- ▼ …キャンバスを張出す

- ※リモコンに3Vのリチウムボタン電池 (CR2430型又はCR2032型) をセットしてください。(出荷時の電池はお試用です。)  
 ※リモコンの受信範囲を確認してご使用ください。  
 ※リモコンに同梱のユーザーガイドをご覧ください。

## リモコン



- ※長期間で使用にならない場合は、リモコンから電池を抜いてください。

■消費電力(電動スイッチ式/電動リモコン式)

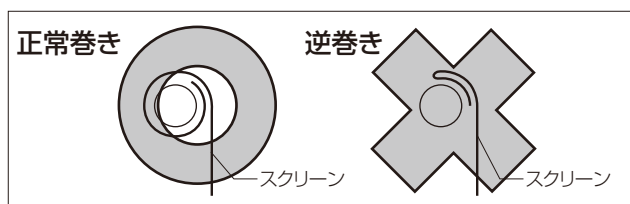
単位:W(ワット)

	間口	出幅				
		1.25m	1.5m	2.0m	2.5m	3.0m
彩鳥CR型	1.0間	130	—	—	—	—
彩鳥C型	1.5間	130	130	130	—	—
彩鳥S型	2.0間	130	130	130	—	—
彩樹A型	2.5間	130	130	130	—	—
彩鳥L型	1.0間	150	—	—	—	—
	1.5間	150	150	150	—	—
	2.0間	150	150	150	150	180
	2.5間	150	150	150	180	180
	3.0間	—	150	180	180	190
	3.5間	—	150	180	190	190
	4.0間	—	180	180	190	250
	4.5間	—	180	190	190	250
	5.0間	—	180	190	250	250
	5.5間	—	190	190	250	320
	6.0間	—	190	250	250	320

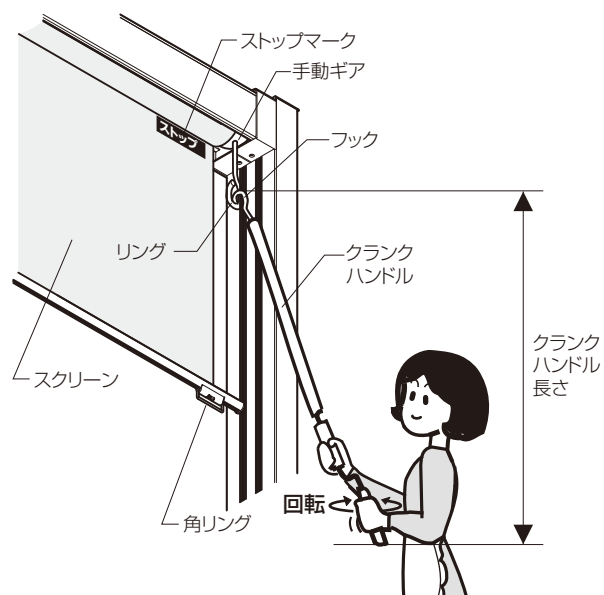
## 操作方法(彩樹B型)

### スクリーンの開閉/彩樹B型

- クランクハンドルのフックを手動ギアのリングに引っ掛け、手回しで開閉します。
- ※クランクハンドルの長さは標準100cmですが、他に150cm・170cm・225cmも用意しています。
- ※スクリーンを全開せず途中で止めたままでも使用できます。
- ※操作しないときはクランクハンドルを外しておいてください。
- ※全開するとき、図のようにストップマークが見えたところで止めてください。



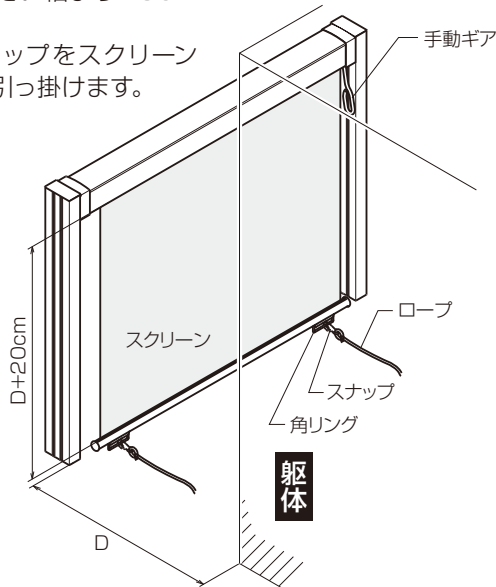
※スクリーンを全部出しきった状態でさらに出す方に回すとスクリーンが逆巻きになります。逆巻きになるとスクリーンが正常に巻けなくなり、外れ・破損の原因になります。



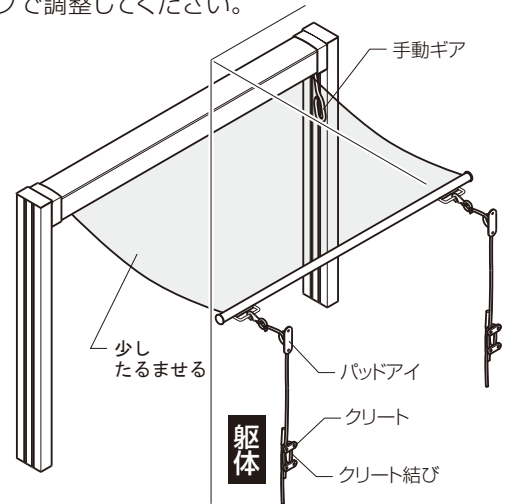
## ロープ操作/彩樹B型

※ロープでスクリーンを横に張る(天張り)場合の操作方法を説明します。

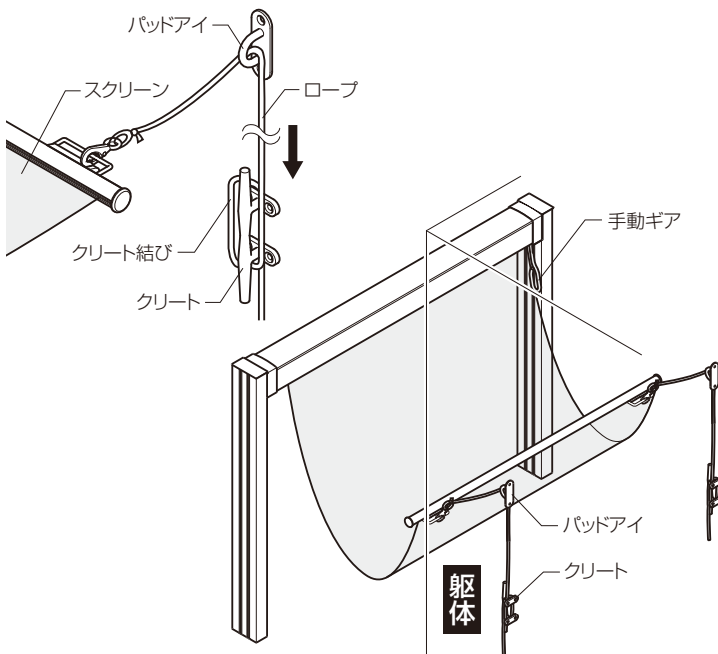
- ①スクリーンを張りたい幅より20cmほど多く出します。
- ②ロープ先端のスナップをスクリーン先端の角リングに引っ掛けます。



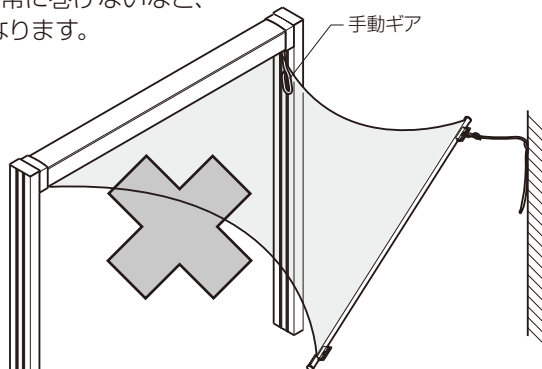
- ⑤引っ張ったロープをクリートに固定します。※クリート結びをします。
- ⑥生地が左右均等にたわむように、ロープで調整してください。



- ③パッドアイからクリート間のロープを下に引っ張り、スクリーンを持ち上げます。
- ④中間位置で一度仮止めします。次に交互に徐々に持ち上げます。

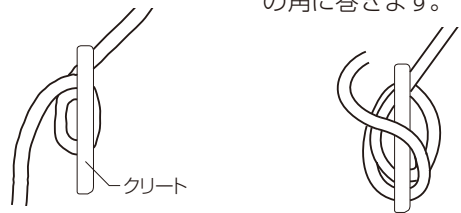


※スクリーン両側で均等な力で引っ張ってください。  
 ※片側のみ引っ掛け状態での使用はおやめください。  
 スクリーンが正常に巻けないなど、破損の原因になります。

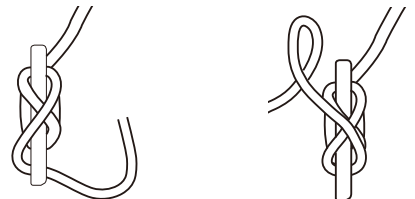


### 【クリート結び】

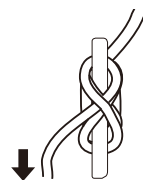
- ①クリートに一回半巻きます。
- ②一回半巻いたところで手前に持ってきて、反対の角に巻きます。



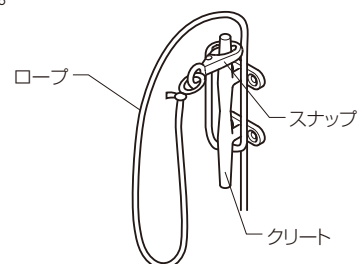
- ③8の字にロープを巻きます。
- ④ロープ先の向側に輪を作ります。



- ⑤出来た輪にクリート上の角を通せばクリート結びの完成です。



- ⑦ロープを使用しないときはクリートにスナップを付けておきます。

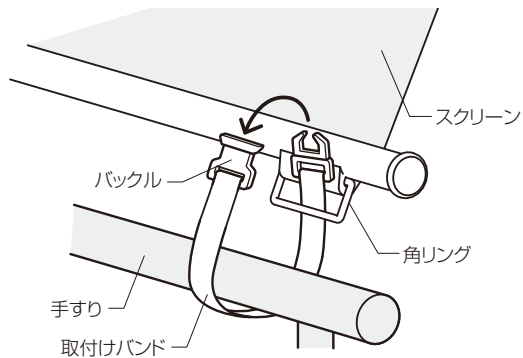


# 操作方法 (彩鳥CR型・彩樹B型)

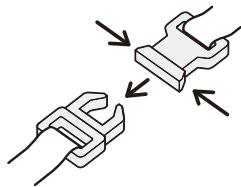
## スクリーンの固定 / 彩鳥CR型・彩樹B型

### 手すりに引っ掛ける場合

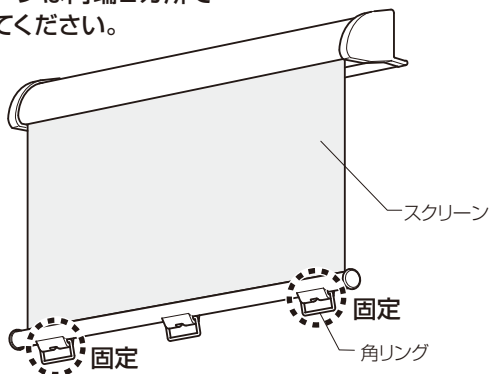
- ① 取付けバンド (オプション) を手すりと角リングに引っ掛け、バックルをはめ込みます。



- ② 外すときは、バックルの両端を押します。



- スクリーンは両端2カ所で固定してください。

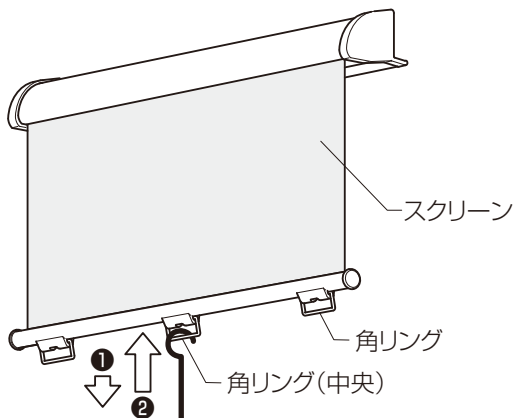


### スクリーンを上げるとき (彩鳥CR型)

- ① 手すり、フック金具から、スクリーンを外します。  
② スクリーン中央の角リングを持ち、スクリーンを少し引出し、ロックを解除させると巻上がります。

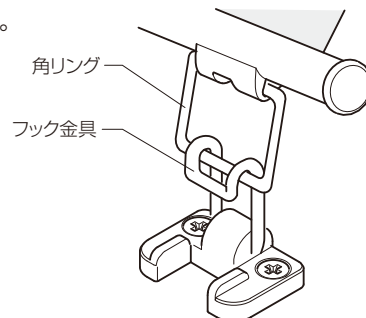
#### お願い

- スクリーンが巻乱れないようにゆっくり操作してください。巻乱れは生地を消耗を早めます。



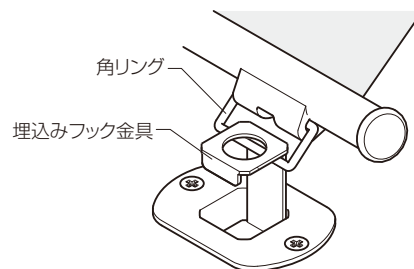
### フック金具 (オプション) に引っ掛ける場合

- フック金具のフックを起こし、スクリーンの角リングを引っ掛けます。

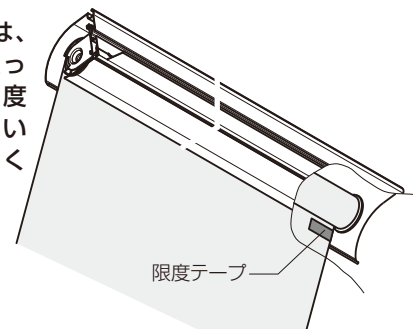


### 埋込みフック金具 (オプション) に引っ掛ける場合

- 金具を持ち上げ、スクリーンの角リングを引っ掛けます。

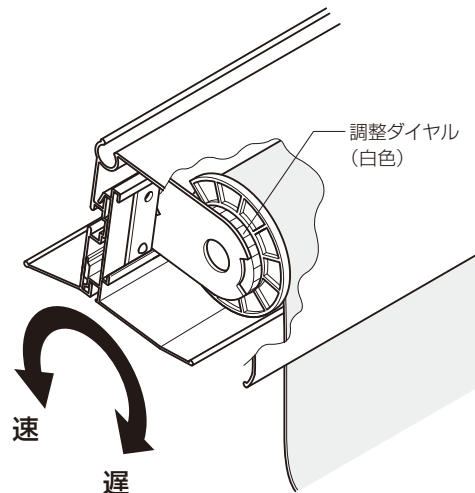


- フック固定金具は、スクリーンを張った状態で、限度テープが見えない範囲に固定してください。



### スクリーン巻上げ速さの調整 (彩鳥CR型)

- 調整ダイヤルを回します。  
・スクリーンが [出ていく] 方向 → 巻上げ速度が遅くなります。  
・スクリーンが [巻上がる] 方向 → 巻上げ速度が速くなります。



# 製品が動かない場合

## ●停電ではありませんか？

電源プラグが外れていませんか？  
リモコンの電池切れではありませんか？



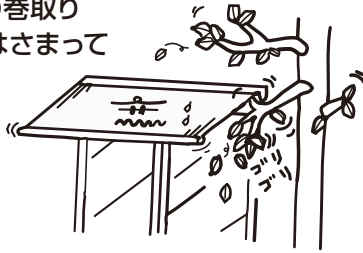
## ●開閉切替スイッチを正しく操作していますか？



## ●キャンバスが張出す範囲に障害物などありませんか？

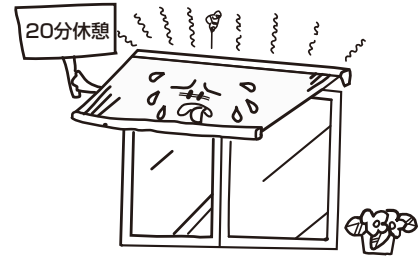


## ●キャンバスの巻取り部分に物がはさまっていませんか？



## ●連続開閉しませんでしたか？

(20～30分ほど休ませると再び動かせます。)



# お手入れ方法

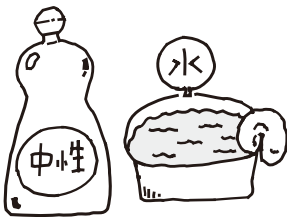
## 商品の点検

- 定期的(年一回程度)に、ねじ・ボルト類のゆるみを点検し締直してください。締直してもガタツク場合は腐食のおそれがありますので、お買い求めの工務店・販売店又はLIXIL修理受付センターへご連絡ください。

## 商品のお手入れ

### アルミ製品

- アルミは比較的腐食しにくい材質ですが、砂・ホコリ・塩分などが付いたまま長い間放置しておくと、空気中の湿気や雨水の影響を受け、腐食の原因になります。お手入れはなるべくこまめにしてください。



### ■お手入れ回数の最低限の目安

お住まいの立地条件	お手入れ回数
臨海工業地帯	1年に2～3回
海岸地帯・工業地帯	1年に2回
市街地	1年に1～2回
田園地帯	1年に1回

### ■汚れが軽い場合：

- 水でぬらしたぞうきんで汚れをふき取り、からぶきします。

### ■汚れがひどい場合：

- ①水でぬらしたぞうきんで全体についたホコリ・砂などをふき取ります。
- ②うすめた中性洗剤でひどい汚れを落とし、洗剤が残らないようによくふき取ります。
- ③全体をからぶきします。

## キャンバス生地・スクリーン生地

- 古くなったキャンバス生地・スクリーン生地は、早めに交換してください。強風・衝撃で破損しやすくなります。美観の観点から、3～5年を目安に(保証値ではありません)交換することをおすすめします。
- キャンバス・スクリーンをお手入れする場合は、ぬらしたスポンジでふいてください。中性洗剤を使用する場合は、洗剤が残らないようふき取ってください。(タワシなどの硬い物でこすらないでください。表面の樹脂加工がはがれます。)

## ロープ

- ロープは消耗品です。ほつれてきたら早めに交換してください。

## 駆動機

- モーター・手動ギアは消耗品です。モーターは5000回開閉程度、手動ギアは3000回開閉程度を目安に交換することをおすすめします。(数字は保証値ではありません。)

## お手入れ時のお願い

- 洗剤は必ず中性洗剤をご使用ください。酸性・アルカリ性・塩素系薬品・ベンジン・シンナー・トルエンなどの有機溶剤および有機溶剤入り洗剤などはアルミ型材・ステンレス部品の腐食や塗膜ががれ、キャンバス・スクリーンの変色・色あせを引起こしますので絶対に使用しないでください。誤って使用した場合は、すぐに大量の水で薬品をよく洗い流してください。
- 金属製ブラシ・金ペラなどは、表面の塗膜をキズ付け劣化を早めますので使用しないでください。



# アフターメンテナンスについて

## 保証について

保証期間中は、保証の規定にしたがって修理をさせていただきます。  
保証期間中でも有料になる場合がありますので「**■商品保証について**」の内容をよくご確認ください。

保証期間を過ぎている場合は、ご希望により有料で修理をさせていただきます。修理用部品の保有期間が過ぎている場合は、修理ができないこともあります。

## 修理を依頼されるときは

点検および修理を依頼される前に、各商品の『**取扱い説明書**』をもう一度ご確認ください。それでも故障が直らない場合やご不明な点がある場合は、商品をお求めの施工店、工務店、販売店又はLIXIL修理受付センターにご連絡ください。その際、下記のことをご連絡ください。

- ①ご住所・お名前・電話番号
- ②商品名・品番
- ③ご購入日又はご入居日  
※分譲住宅（建売）、分譲マンションは建設業者から売主への引渡し日となります。
- ④故障又は異常の内容
- ⑤訪問ご希望日
- ⑥LIXIL修理受付センターにご連絡の際は、商品のご購入者様名

## 個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

## 点検および修理の依頼先

- ・お求めの取扱い店
- ・製品に表示している連絡先
- ・LIXIL修理受付センター ☎ 0120-413-433

## 点検および修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。  
技術料は、点検および故障箇所の修理および部品交換・調整などの作業にかかる費用です。  
部品代は、修理に使用した部品代です。  
出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品・製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

## 修理用部品の保有期間

この商品の修理用部品（商品の機能維持には問題ない範囲内で色やデザインが異なる代替部品も含まれます。）の最低保有期間は、製造打ち切り後10年です。電装系部品については製造打ち切り後7年、室内建具などの扉・引出しなどの面材については、製造打ち切り後2年としております。  
※機器類など専用の取扱い説明書があるものは除きます。添付の取扱い説明書をご確認ください。

また、修理用部品の供給が難しい場合は、新シリーズの類似商品を供給させていただくこともありますのでご了承ください。

## 交換用部品について

お客様ご自身でお取替えいただける部品については、LIXILオフィシャルサイトよりご注文いただけます。

- リクシルストア <https://store.lixil.co.jp/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎ 0120-126-001にご連絡ください。

# 商品保証について

本書は、当社の商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所・お客さま相談センターにててもご相談を承ります。

- (1)保証者・・・・・・・・株式会社LIXIL  
(2)保証の対象者・・・・・・当該商品の所有者  
(3)対象商品・・・・・・・・LIXILブランドで販売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品  
(4)保証内容・・・・・・・・取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。  
(5)保証期間・・・・・・・・当該商品の施工完了日（お引き渡し日※）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間。ラッピングシートの“浮き”や“はがれ”およびそれに伴う“著しい変色”については5年間。）ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。  
※注）新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- (6)品質保証の免責事項・・保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
- ①当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工（基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など）、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合（海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など）。
  - ②取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
  - ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
  - ④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
  - ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のささくれ、ヒビ割れ、変色、ねじ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
  - ⑥商品又は部品の材料特性に伴う現象（例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、木目違い、節抜け、樹液のにじみ出しなど）。
  - ⑦自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合（例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など）。
  - ⑧環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起きる腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など）。
  - ⑨天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
  - ⑩実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
  - ⑪犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
  - ⑫所有者様や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取り外し含む）に起因する不具合。
  - ⑬本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
  - ⑭犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。

※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。

※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is availed only in Japan.）

2023年8月

## 株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

